

燃料研究棟における作業員の被ばくについて（時系列）

【6/6（火）】

- 11:15 頃：燃料研究棟の108室（管理区域内）において、核燃料物質を収納した貯蔵容器の点検作業中（フード内作業）、貯蔵容器内の樹脂製の袋の破裂を確認し、作業員5名に身体汚染の可能性を確認した。作業員5名は半面マスクを着用していた。
- 11:48 頃：現場指揮所の立ち上げ
- 12:00：大洗現地対策本部設置
- 12:27：F A X（第1報）発信→12:52 F A X着信確認完了
- 12:52：放管員1名、施設側1名、管理区域に立ち入り。作業員、健康状態異常なしを確認
- 13:05：108号室の壁 非常口等のすき間（外側境界）の汚染なし、目張りを実施。
- 13:15：108号室入口グリーンハウス設置開始
- 13:22：F A X（第2報）発信→13:40 F A X着信確認完了
- 13:55：P u ダストモニタ（108号室）の指示値上昇を確認（約 $5 \times 10^{-8} \text{Bq/cm}^3$ （1週間平均濃度））を確認。排気ダストモニタは通常指示範囲内を確認
- 14:20：モニタリングポスト（P-2）指示値異常なし。環境への影響なし
- 14:29：108号室入口グリーンハウス設置完了
- 14:30～作業員の退出開始（身体汚染検査）
- 14:44～：作業員Aの汚染検査実施 最大 100 min^{-1} （ α 線、帽子）
防護具脱装後、身体汚染なし。鼻腔内汚染検査結果、異常なし
- 14:53：F A X（第3報）発信→15:15 F A X着信確認完了
- 14:59～：作業員Bの汚染検査実施 最大 $3,000 \text{ min}^{-1}$ （ α 線、カバーオール）、
防護具脱装後の汚染検査結果、身体汚染あり：耳 500 min^{-1} （ α 線）
鼻腔内汚染検査結果、異常なし。シャワー実施。
- 15:25～：作業員Cの汚染検査を実施。最大 $1,000 \text{ min}^{-1}$ （ α 線、帽子）
鼻腔内汚染検査結果、 13 Bq （ α 線）。シャワー実施
- 16:00～：作業員Dの汚染検査を実施。最大 $1,800 \text{ min}^{-1}$ （ α 線、カバーオール）、
鼻腔内汚染検査結果、 3 Bq （ α 線）。シャワー実施。
- 16:07～：作業員Eの汚染検査を実施。最大 $>100,000 \text{ min}^{-1}$ （ α 線、カバーオール）、
鼻腔内汚染検査結果、 24 Bq （ α 線）。シャワー実施。
- 16:27：108号室を立入制限区域に設定
- 17:05：F A X（第4報）発信→17:40 F A X着信確認完了
- 18:52：作業員5名全員の除染が完了
- 18:55：作業員5名全員退域
- 19:05：作業員5名が核燃料サイクル工学研究所に向けて出発
- 19:40：P u ダストモニタ No. 2（108号室）の集塵用フィルタの交換を実施し、20:04 通常指示値範囲内を確認。排気ダストモニタ：通常指示範囲内を確認
- 19:41：作業員が核燃料サイクル工学研究所に到着
- 19:59：肺モニタにて作業員Eの測定を開始
- 22:05：作業員にキレート剤の投与を開始
- 23:33：作業員5名の肺モニタによる測定が終了。測定の結果、Pu-239とAm-241について、最大でそれぞれ $2.2 \times 10^4 \text{Bq}$ 、 $2.2 \times 10^3 \text{Bq}$ を確認

【6/7（水）】

- 1:05：作業員全員のキレート剤投与を終了
- 10:00～放射線医学総合研究所に向けて大洗センターを出発（作業員5名）、11:55 到着
身体汚染検査、除染後肺モニタによる測定を開始
- 12:18：F A X（第2報）【通算第5報】発信→13:01 F A X着信確認完了
- 13:27：原子力規制庁に法令報告と判断した旨を報告（判断時刻：13:00）
- 17:05：F A X（第3報）【通算第6報】発信→17:56 F A X着信完了
- 18:55：108号室の汚染検査の結果、最大 5.5 Bq/cm^2 （ α 線）の汚染を確認した。

【6/8（木）】

- 10:43：F A X（第4報）【通算第7報】発信→11:20 F A X着信確認完了
- 16:40：グリーンハウス内の整理・除染作業が終了